用意するもの

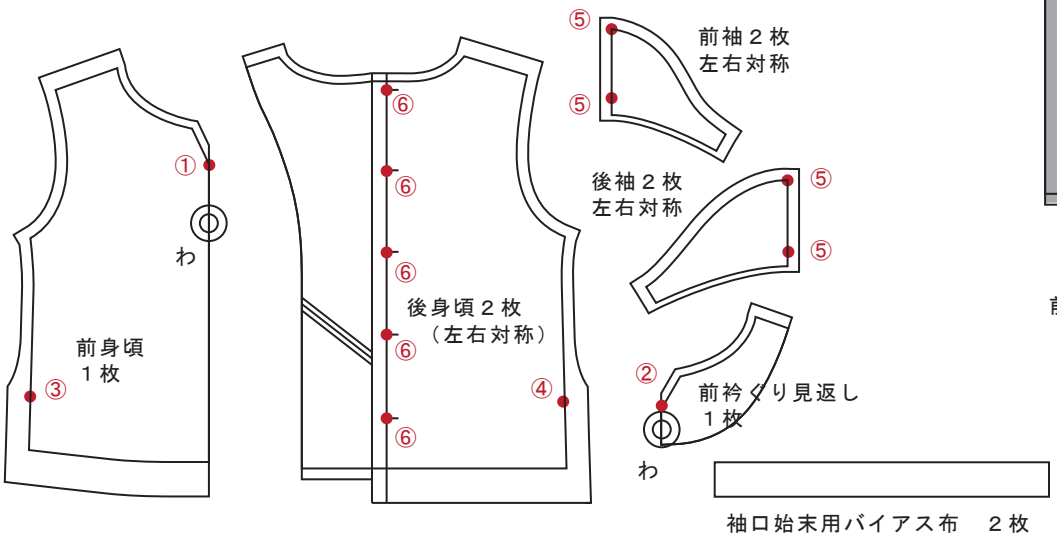
●布帛生地
60 ローン～ 80 ローン程度の、トップス用薄地素材
110cm 巾　90（0.6m）・100（0.6m）・110（0.9m）・120（0.9m）・130(0.9m)・140(1.0m)・150(1.1m)

●接着芯　90(0.4m)・100 ～ 120(0.5m)・130 ～ 150(0.6m)

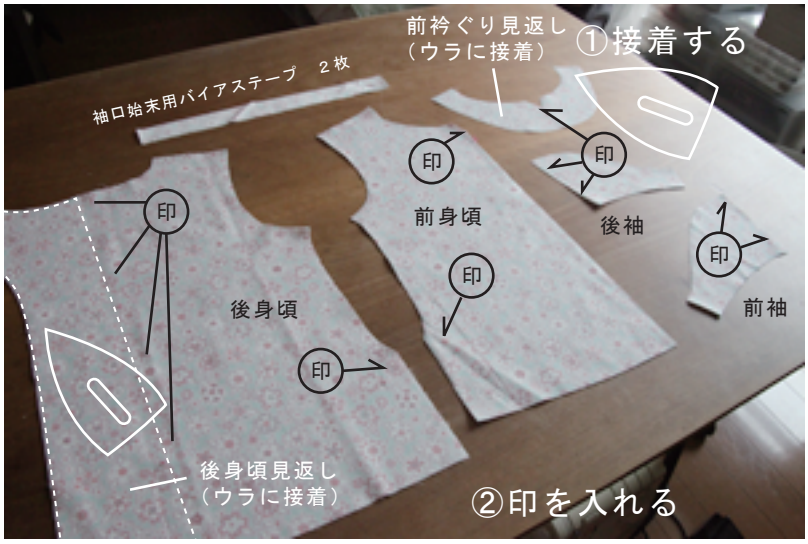
●ボタン（12mm 径）　90 ～ 130（５個）・140 ～ 150(６個）

準備

●裁断パーツ６・合計１０枚（下図）
●前衿ぐり見返しと後身頃見返し部分のウラに、接着芯を貼っておく（右図）
●以下の①～⑥に、印をしておく。

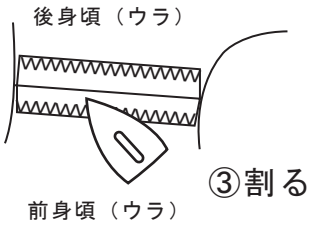


芯貼り

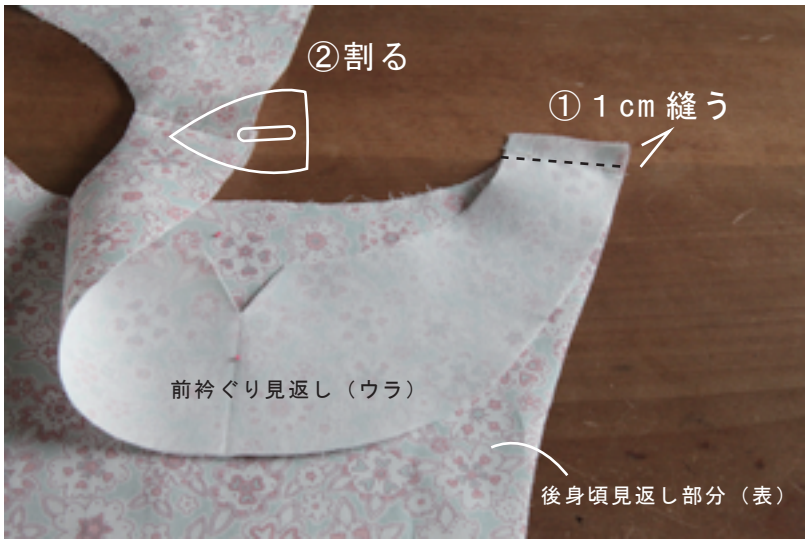


前衿ぐり見返し（ウラ）と後身頃見返し部分に接着芯を貼ります。前後身頃脇、袖のスリットどまり、ボタン位置、前中心のＶ字の部分（身頃、見返しとも）に印を入れます。

肩縫い

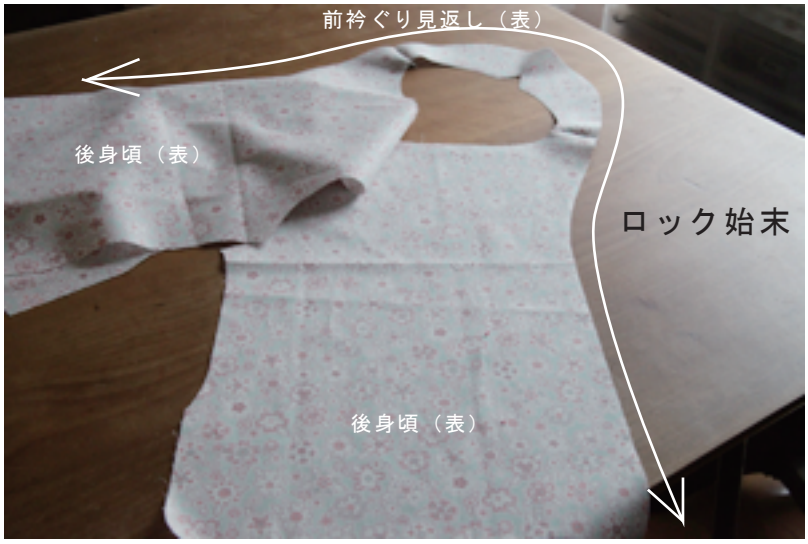


前後の肩を、生地の表からロック始末します。前後の肩を中表に合わせ、1.5cm で縫い合わせます。縫い代は割ります。



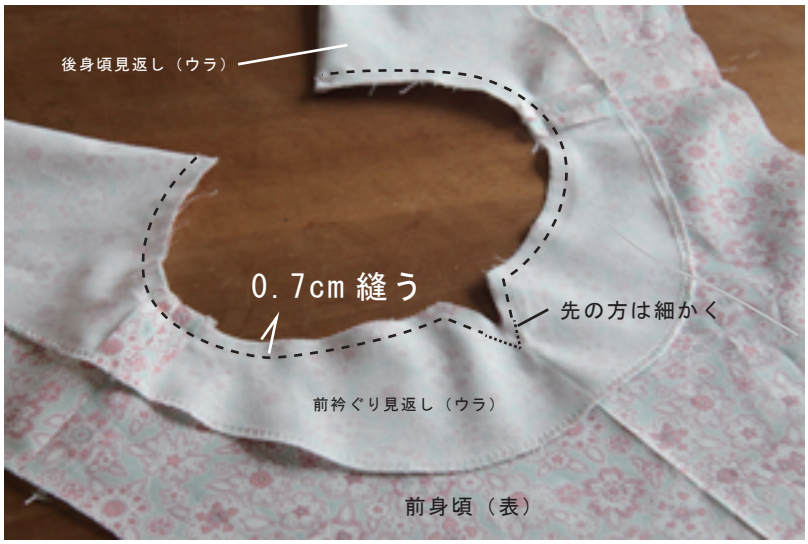
見返しはロック始末しないで、前後を中表にあわせ、１cm で縫い合わせます。縫い代は割ります。

見返し奥



見返し奥を、後身頃〜前衿ぐり見返しを通り、もう片方の後身頃まで一気に生地の表側からロック始末します。

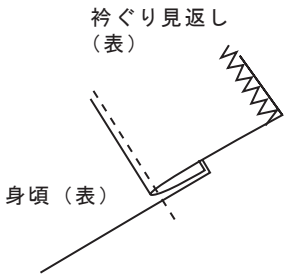
衿ぐり

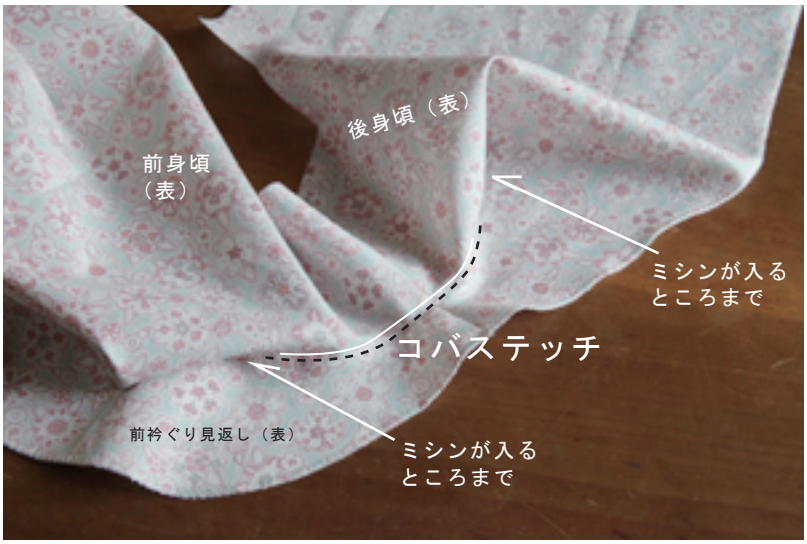


前後衿ぐり見返しと、身頃の衿ぐりを中表に合わせて、0.7cm で縫い合わせます。前中心のＶのところはミシン目を細かくします

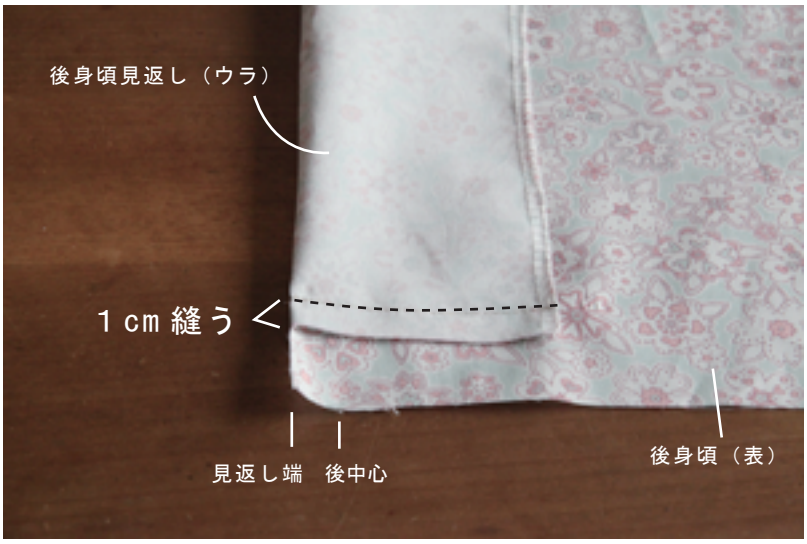
衿ぐりの縫い代のカーブがきついところに、できあがりギリギリまで切り込みを入れます。前中心も、縫い目ぎりぎりまで切り込みます。

裏コバ始末

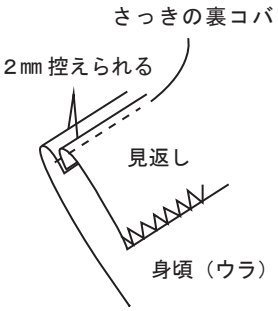




見返しと見返しの縫い代、身頃の縫い代の３枚重ねて、コバステッチします。
後明き端と前中心のＶ字の部分は、ミシンが入るところまでステッチします。

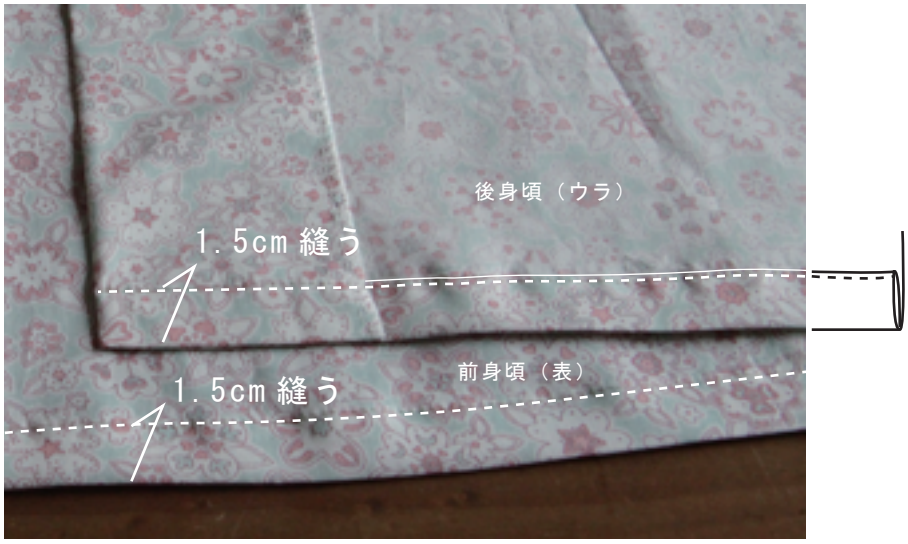


後身頃見返しの裾を、見返し端で中表に合わせ、１cm で縫い合わせます。



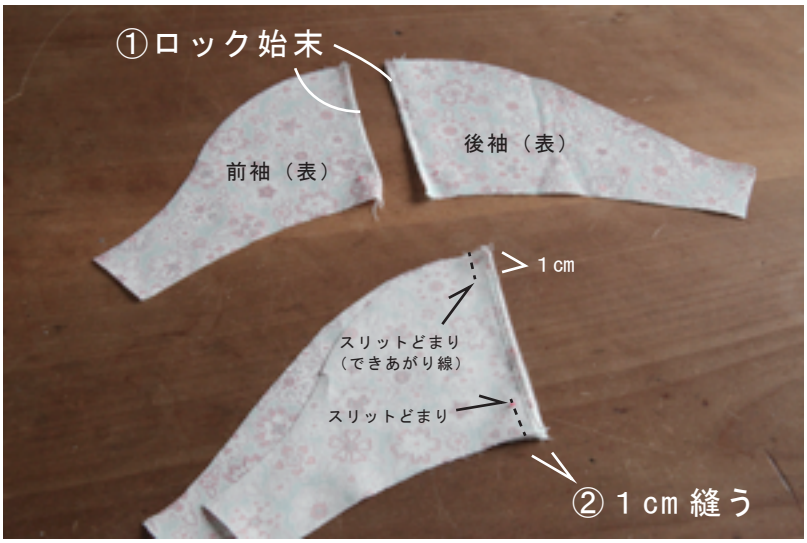
表に返してできあがりにアイロンで整え、肩線の際に、生地の表から
落としミシンします。

裾

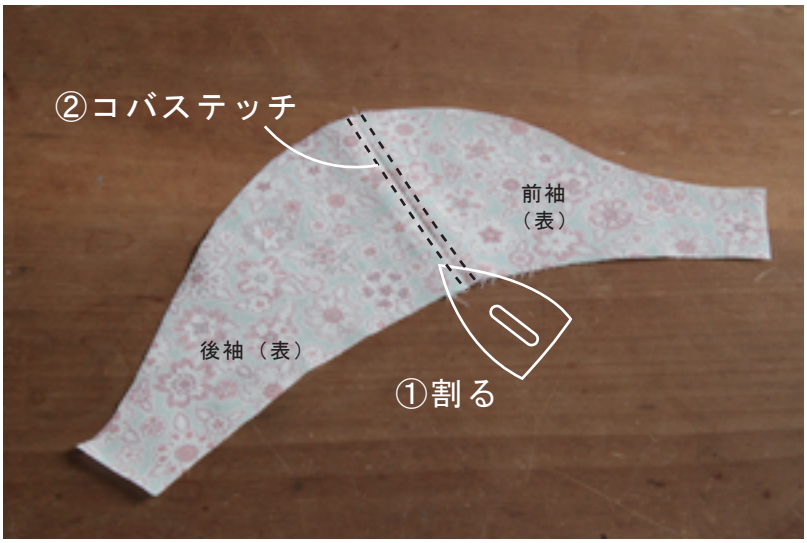


後ろ見返しの裾を表に返し、前身頃裾、後身頃裾を 1.5cm 完全三つ折りにして、ステッチ始末します。

袖

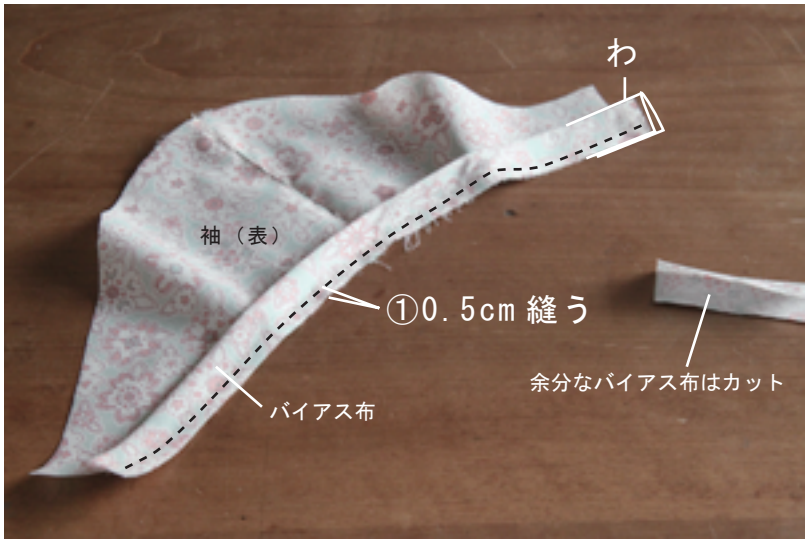


前袖、後袖の切り替え線を、それぞれ生地の表からロック始末します。中表に合わせてスリット部分を残して 1cm で縫い合わせます。

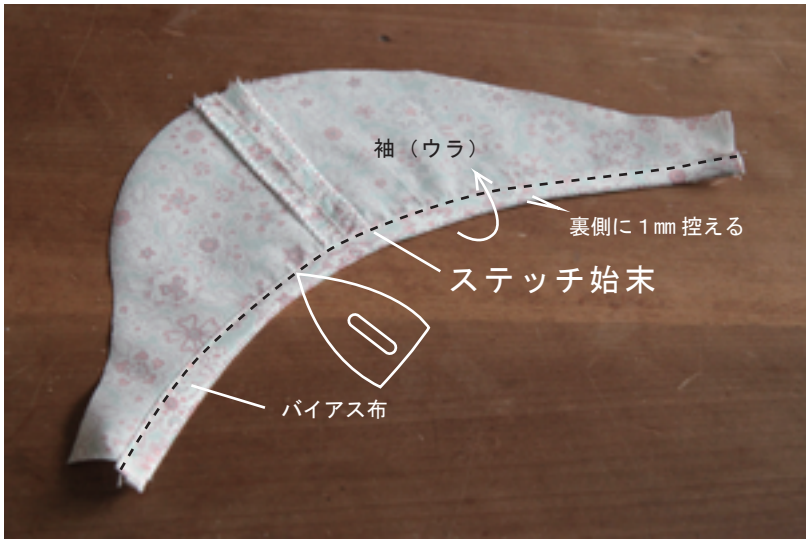


縫い代を割り、スリットの両脇をコバステッチします。

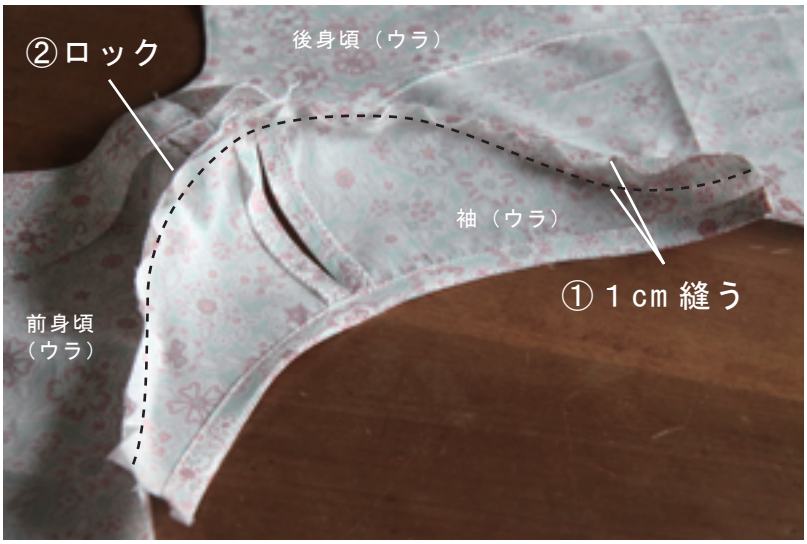
袖口始末用バイアステープをアイロンで半分に折ります。



袖口（表）にバイアス布を置き、0.5cm で縫います。

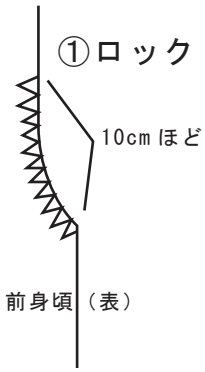


バイアス布を裏側に、1 mm 控えて倒し、ステッチで押さえます。



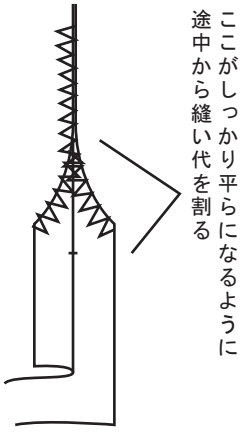
袖と身頃を中表に合わせ、１cm で縫い合わせます。縫い代は袖側を上にしてロック始末
縫い代は身頃側に倒します。

袖下～脇



前後の袖下～脇を中表に合わせて、１cm で縫い合わせます。裾は前後で高さが
違うので、前後のスリットどまりを合わせて、そこまで縫います。

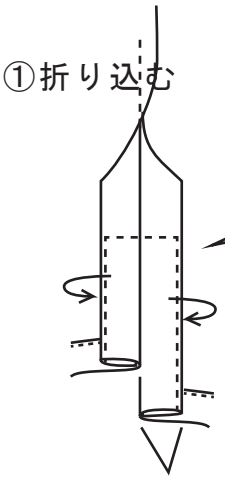
脇スリット



袖下～身頃裾までの縫い代を、前身頃側を上にしてロック始末します。身頃裾は
分岐のところがしっかり平らになるように割って、かけるようにします。

仕上げ

袖口の縫い代を、後ろ身頃側に倒して、縫い代止めミシンします。



脇スリットは端を内側に折り込んで、コの字に縫います。
ボタンをつけて、ボタンホールをあけて完成です。